

1970年代から80年代は、新しいモノや珍しいモノを持つことが価値になる「モノ消費」の時代でした。それが新しいコトや珍しいコトの体験が価値になる「コト消費」へと変化すると、コロナ以降は「そのとき・その場」でしか味わえない貴重な体験を求める「トキ消費」へ。消費の変化は価値の変化というわけですね。

知っどこ! 「税」のマメ知識

今月のマメ知識:【2023年度の税制改正について】

今回は2023年度の税制改正のポイントについてお話しします。個人所得課税については、家計の資産を貯蓄から投資へと資産所得倍増につなげるべく、NISA制度の拡充と恒久化措置が講じられました。それによ



り「つみたて投資枠」については年間上限額を120万円に拡充し、新たに設けられた「成長投資枠」の年間投資上限額を240万円に拡充するとともに「つみたて投資枠」との併用が可能となりました。資産課税については、相続時精算課税制度における基礎控除(年110万円)の創設により、この制度の選択後も毎年110万円以下の贈与については贈与税の申告が不要。また資産移転の時期に対する中立性を高める観点より、暦年課税における相続前贈与の期間を3年から7年に延長したほか、

延長した期間に受けた贈与のうち100万円については相続財産に加算しない見直しが行われました。その他、法人課税については研究開発税制の見直し、先導的人材投資に関する税制の創設なども行われました。

光を放つ 名言コラム

【「時間がない」は優先順位下げている】

庭師で俳優でもあるスウェーデン出身の村雨辰剛氏は雑誌「PHP」のインタビューで毎日、約1時間の筋力トレーニングをしていると語っていました。自分の心と体に向き合う大切な時間で、村雨氏にとっては、食事と同じくらい優先度が高いことだそうです。時間がないと言う人は「優先順位を下げているからではないでしょうか。優先度を上げて日々のなかに組み込んでいけば、忙しくても必ず時間を生み出せるはずです」と続けていました。筋トレでも、ジョギングでも「やりたいけれど時間がない」と言う人は多そうです。確かに何でもやる時間がある人はいませんが「これだ!」と思ったことをいつまでも始められないのであれば、長期、短期の視点から「これは優先すべきことなのか」と自分に問いかけたほうがよさそうです。実は一番大事で難しいのは、自分が本当にしたいことを知ることなのかもしれません。

世界の偉人伝

今月の偉人:【ハンムラビ】

ハンムラビ王は紀元前18世紀頃のバビロン第1王朝の王です。現在のイラクに位置するメソポタミアは六十進法や七曜制、アルファベットの起源など高度な文明が存在していました。第6代の王に即位したハンムラビは全メソポタミアを統一し、駅伝制やかんがい用水路を建設しました。ハンムラビ法典の「目には目を、歯には歯を」の真意は、過剰な報復を避けて限度をわきまえること。体系化した法で混在する異民族を統制し、中央集権国家としてバビロニアの全盛をもたらしました。

風を当てましょう。ウールの場合には必ず冷風をおすすめです。特にむことがありますが、冷風が当たると衣類が傷みます。温風でも冷風でもOKですが、温風を当てすぎると衣類が傷むことがあります。特にウールの場合には必ず冷風を当てましょう。



才人の言葉

自分で薪を割れ
二度に温まる

アメリカの自動車会社フォード・モーターの創設者であるヘンリー・フォードの言葉。「漁夫の利」や「棚からぼた餅」を期待しているのは体もふところも温まらない。

振り向けばあそこにも「商売のヒント」 ここにも

今月の商売のヒント：【解釈力を磨く】

朝、元気に「行ってきます！」と出かけた人が事故に巻き込まれ、その日の夕方には全身を包帯に巻かれた姿で病院のベッドに寝ていた、という話を聞きました。その場にいた全員が「なんて不幸な出来事なんだ」「かわいそうに」と同情する中で、当事者の妻は「彼が生きていてくれて本当によかったです」と満面の笑みだったそうです。私はこのとき、とても大事なことを学びました。人を不幸にするのは「出来事」ではない。その出来事をどう「解釈」するかで自分にとっての現実がまったく違ってくる、ということです。自分の身にトラブルが起きたとき、あなたはそのトラブルをどう解釈しているでしょうか。自分に非があれば謙虚な気持ちで反省し、迷惑をかけた相手には思いやりの心で接するかもしれません。また自分に非がなければ「相手が悪い」「タイミングや状況が悪かった」など、原因となった要素を責めることもあるでしょう。けれど例えば



石につまずいて転んだとして、果たしてそこに石があったからなのか。「こんな所に石があるのが悪いんだ」と解釈することもできますが「足元の石に気づかなかったのは自分の不注意だ。転んだおかげで、次からは足元に気をつけようと思えてよかった」と解釈できたらどうでしょうか。そうすることにより今まで苦難だ、逆境だと嘆いていた出来事すべてが逆転して、結果「よかったじゃないか」となるのではないのでしょうか。「すべての出来事は自分にも原因がある」と解釈して、現実を感謝の気持ちで受け止めてみる。これは一種の訓練です。繰り返し解釈力を磨くプロセスで、私たちは多くを学べるだろうと思います。

ナットク! 気になっていたあの言葉

今月の気になっていたあの言葉：【ChatGPT】

アメリカの新興企業が2022年11月に公開した人工知能チャットボット。質問に答える際、自然な言葉で文章が生成されるため2カ月間で利用者が1億人に達した。不正確な答えや不適切な表現、サイバー攻撃に悪用される恐れなど懸念点はあるが、幅広い業種に利用可能で全職業の80%が影響を受けると予測されている。

トナりの本棚

【爆弾】

2023年版のミステリーランキング2冠達成の呉勝浩の小説。連続爆破テロの犯人と警察が攻防を繰り返します。ページをめくる手が止まらない一冊です。



元氣と氣づきを提供する
東京都豊島区池袋の佐藤茂税理士事務所

豊島区池袋2-60-7 ルート池袋第3ビル4階

電話：03-3988-8820 FAX：03-3988-8824

<http://www.satousigeru.jp>